

焼津市
総合計画に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和8年3月

焼 津 市

■目次

1	調査概要	1
2	調査結果	4
	【回答者の基本属性について】	4
	属性1：性別	4
	属性2：年齢	4
	属性3：子どもの有無	5
	属性4：職業	6
	属性5：勤務地	7
	属性6：居住地区	8
	属性7：居住形態	9
	【焼津市の住みやすさについて】	10
	(1) 焼津市が好きか	10
	(2) 焼津市は暮らしやすいか	10
	(3) 焼津市に住み続けたいか	11
	(4) 行政サービスの満足度	11
	(5) 安心して子どもを産み育てることができるまちだと思うか	12
	(6) 市の情報を得る手段	13
	(7) 必要な市の情報は十分得られていると思うか	15
	(8) 市民の意見が行政に届きやすいと思うか	16
	(9) 焼津市の都市環境等の満足度	17
	【自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて】	19
	(10) 心身共に健康だと思うか	19
	(11) 健康のために心掛けていること	20
	(12) かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持っているか	21
	(13) 医療機関は身近に整っていると思うか	22
	(14) ワーク・ライフ・バランスがとれた暮らし	23
	(15) 文化・芸術に関する活動の有無	23
	(16) スポーツの頻度	24
	(17) 現在、生きがい（喜びや楽しみ）を感じているか	24
	(18) まちづくり活動（NPOやボランティア活動）に参加したいと思うか	25
	(19) まわりに認められ（人権が）尊重されていると思うか	25
	(20) 障害のある人が地域で暮らしやすくなっていると思うか	26

(21) 男女の役割を固定的に考えることについて	27
(22) 男女共同参画情報紙Aしおかぜを読んだことがあるか	28
(23) 男女共同参画社会を形成していくことの必要性が理解できたか	28
(24) やいづ議会だよりを読んだことがあるか	29
(25) やいづ議会だよりに掲載された記事で関心をいただいたもの	29
(26) 姉妹都市との国際交流を知っているか	30
(27) 友好都市との国際交流を知っているか	30
(28) 災害に対して備えていること	31
【自由意見】	32
(29) 施策・事務事業についての自由意見（問 29）	32
(30) その他の自由意見（問 30）	44
3 資料編	63
【クロス集計表】	63
焼津市 総合計画に関する市民意識調査 調査票	91

1 調査概要

1 調査目的

第6次焼津市総合計画に掲載している施策の成果を把握することにより、今後の施策の検討資料とすることを目的としています。

2 調査内容

- 1 回答者の基本属性について
- 2 焼津市の住みやすさについて
- 3 自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて

3 調査設計

調査主体：焼津市

調査対象：令和6年4月1日より継続して居住している焼津市在住の18歳以上の市民

標本数：1,800人

抽出方法：住民基本台帳に登録している者及び外国人登録をしている者で、永住者又は特別永住者として焼津市の住民基本台帳に登録している者から等間隔無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収又はWeb回答

調査期間：令和8年1月9日～令和8年2月3日

調査機関：株式会社 トムス

4 回収状況

発送数	有効回収数	有効回答率
1,800 票	1,117 票 〔うち、Web：449 票〕 〔うち、Web：668 票〕	62.1% 〔うち、Web：24.9%〕 〔うち、Web：37.1%〕

※有効回収数とは、回収数 1,200 票のうち、白票、重複票 3 票を除いた数

5 報告書を見る際の注意事項

- ・回答比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、回答比率を合計すると、合計値と一致しない場合があります。
- ・質問の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答比率の合計は 100%を上回る場合があります。

6 性年代の補正

今回の市民意識調査回収結果については、焼津市全体の「性年代」別人口（母集団）からの偏りを補正計算して調査結果としています。

焼津市全体の 「性年代」別人口（※1）		回収		補正後
		数	割合（%）	割合（%）
男性 10代（18・19歳）	1,369	9	1.7	2.4
男性 20代	6,873	39	7.5	12.1
男性 30代	7,092	53	10.2	12.5
男性 40代	8,515	83	15.9	15.0
男性 50代	10,270	100	19.2	18.1
男性 60歳～64歳	4,371	56	10.7	7.7
男性 65歳～69歳	4,064	64	12.3	7.2
男性 70代以上	14,165	117	22.5	25.0
男性合計	56,719	521	100.0	100.0
女性 10代（18・19歳）	1,241	9	1.5	2.1
女性 20代	6,086	36	6.2	10.3
女性 30代	6,584	65	11.1	11.1
女性 40代	8,272	92	15.8	14.0
女性 50代	9,661	113	19.3	16.3
女性 60歳～64歳	4,367	60	10.3	7.4
女性 65歳～69歳	4,001	56	9.6	6.8
女性 70代以上	18,976	153	26.2	32.1
女性合計	59,188	584	100.0	100.0
無回答（※2）		12		
総計	115,907	1117		

※1…令和7年12月31日現在の住民基本台帳人口です。

※2…「無回答」は、性別を尋ねる設問で「その他」と回答した方または無回答の方、あるいは年代を尋ねる設問に無回答の方の数を表します。

7 調査の精度

この調査は、単純無作為抽出により対象者を定めたもので、標本誤差は以下の式で近似できます。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

σ : 標本誤差
 N : 母集団
 n : 標本の大きさ
 P : 回答比率

変数 κ は信頼率により決まり、信頼率 90% ならば 1.64 とされます。

回答者総数 (1,117 人) を 100% とする場合の質問で、信頼率を 90% とすると、各回答比率別の標本誤差は以下の通りとなります。

回答比率	標本誤差
50%	±2.44%
60%または40%	±2.39%
70%または30%	±2.24%
80%または20%	±1.95%
90%または10%	±1.46%

これは、例えば今回の調査においてある設問を単純集計した場合、その設問の「A」という回答が全体の 50% であったとすれば、今回の調査の母集団 (18 歳以上の焼津市民全体 : 115,907 人) に同じ質問をしても、統計学的には 90% の確率で「A」の割合は、 $50 \pm 2.44\%$ の範囲内となり、精度は確保されていると言えます。